

九月十日

午前中頭が少し重い感じだが大学へ。今日位から色々の事が起きるのだろう。昨日富士で手に入れたケイトーの花を植え忘れたな。生ゴミも屋上に放置したままだ。明日の首相官邸用の企画書まとめ。モノミーティング。三年生製図課題。セバスチャン。その他雑事諸々。早稲田学生新聞インタビューもこなした。人に会うのはエネルギーが要る。世田谷村へ戻り少しスタッフとおしゃべり。住宅建築の趙海光のインタビューのゲラに手を入れる。俺のインタビューはどれも成功しているとは言えない。前にもメモに書いた記憶があるが、しゃべる速力に頭の回転記憶力その他がついていかない。筆談インタビュー、筆談座談のスタイルが本当は望ましいのだけれど、そうもいかぬからナア。住宅建築の特集は海光の筆力に期待するしかない。

九月十一日

月下美人がもうすぐ咲くコレワ。七時屋上に上りかなりの量の生ゴミを埋める。菜園は秋の模様を呈していた。しばらく上らぬままにいますと様子が変化しているから驚かされる。十時首相官邸にて古川貞二郎内閣官房副長官と面談。沖縄計画についてアドヴァイスをいただく。内閣府に行き色々と相談。沖縄計画を動かそうと思う。休止状態のライトインフラストラクチャー、難民キャンプ支援病院のプロジェクトを引き出しから引っ張り出してほ

こりを払っておこう。昼過ぎ、世田谷に戻る。今日は屋上菜園で3回目になったファッション誌の撮影。オゾンロックスの山口勝三氏に初めてお目にかかる。

今日は昨年のNYテロ事件から丁度一年経った日だ。TV・新聞共に盛り沢山な報道である。しかし繰り返し繰り返したあの衝撃的な映像は私達から何かを深く奪った、別の言い方をすれば私達は大きく何かを失った筈なのだが、そういう議論は少ない。宗教学、イスラム学のフィールドからの声を聞きたい気がする。集団自死と教義の本体に対する理解度の問題が根底にあるのではないか。その問題に触れずにイスラム原理主義者達の集団的自死と、それがもたらす近代キリスト教的世界との葛藤は公平に語り得ないのではないか。

夜、遂に月下美人咲く。合計三つも。ふくいくたる香りにつつまれて、しばしの平安を楽しんだ。世田谷村は月下美人の匂いに空間を占領され、一時間程桃源郷となった。この静かな平安は固い物質では構築できないかも知れない。

九月十二日

八時過世田谷村発富士へ。聖徳寺現場で依頼主、住職等と打ち合わせ。ようやく、私の方にまとめられるかも知れないという自信が湧いてきた。仕事とというのは奇妙なもので、幾つか走らせている群の中で一つだけでも良く走りそうなモノが出てくると、私の方の全体も活気付いてくれる。

九月十三日

十一時中国より劉さん来日。コンペの打ち合わせ。十四時赤坂見附コンサル会社、ホテルの件。十六時目白GK日本フィンラン

ドデザイン協会会合。来年の日本でのフィンランド・デザイン展の準備について。「静けさ」のテーマが消えかかっている。少し頑張ってブッディズムとデザインの主題を取り戻さなくては。今夜は少し計り考える時間がある。幾つかのプロジェクトのオリエンテーションを考え直してみよう。

“無難”とは“不十分”のことだから、それではそのため死んでいった多くの「過激なミュージシャン」に申し訳が立たないのではないか!?大学の研究室に置いてあった菅原昭二（今は正二）のジャズ喫茶「ベイシー」の選択を久し振りに世田谷村に持ち帰って再読した。菅原はやっぱり気品があるなア。

九月十四日 土曜日

朝地下で少しのおしゃべり。十三時コンバージョン打合わせで大学に行くも何も資料がそろっておらず打合わせにならず。飯空の問題で一分たりとも議論する時間は今の私には無い。この件は仕切り直し。十四時中国コンペ打合わせ。長々と打合せの形式の独人言が続く。仕方ネエナ。

十七時新大久保駅近くのラーメン屋で太田とビールとメシ。こついうのもウラ寂しくてよい。十九時半世田谷村に帰る。

ちなみに、今早朝屋上菜園に種をまいたのは、八重矢車草、わすれな草、スイートピーロイヤルファミリミックス、カモミール、BACHELOR'S BUTTONS、Lavender、Lady Chives、Garlic、長江豆の八種類。うまく芽を出してくれれば良いのだけれど。

九月十五日 日曜日

今日は完全休養。何冊かの本を読む。捨てられぬ本に出会うの

は難しい。

九月十六日

今日は休日だが大学で用事がある。雨模様の曇り日で、何とか元気を演技しなくてはいけぬ日だ。十時帰国子女面接、外国人受験生面接。そのあと人事小委員会。学科は難向排出である。早稲田建築の世界の中での存在理由を明らかにするのが第一であろう。計画系をデザイン・歴史へ、都市計画を広義の計画へ、環境系をより実体化するのが急務なのだ。拡張路線は墓穴を掘るに等しいと思うが、帰国子女外人共にエネルギーが不足している印象は否めない。どうなってしまうのかねこの国の将来は。昨夜サンパウロ大学のマリアセシリア・ドス・サントス女史から電話があつてITスタジオの課題にリノベーションをテーマに参加したいという事であつた。

明日の三年生の設計製図に小レクチャーの住宅をやってみようと思うが、レクチャーの素材はアルヴァ・アールトの自邸にしよう。あんまり難しい話は三年には無理だからヘルシンキ工科大学の学生達が課題にどう取り組んでいるか、その学生の作品を見せてやろう。十四時より中国コンペ打合わせ。野村が頑張って少し進んだ。十月中旬から追いこめるようにつめてゆけば良い。

世田谷村市場のウェブサイトの案内方法のアイデアが浮かぶ。飯空の町のガイドブックを作ろうと夢中になっていた結果が筑摩の「夢のまたゆめハウス」であつたが、あれをもう一度別の形でトライしてみるか。コンピューターはファンタジーだよ。とどつつまりはぞ。